

位置図



事業概要

開始年度 平成21年度
 事業延長 L=1,000m
 事業内容 遊歩道 L= 587m
 階段護岸 1箇所
 緩傾斜護岸 1箇所
 飛び石 2箇所
 床止工 1箇所

地域の声

景観がよくなった。遊歩道が整備され、水辺に近づきやすくなった。

事業経緯

検討会メンバー

自治会、槻川をきれいにする会、小川町、県、比企の川づくり協議会(オブザーバー)

地域活動

川の国応援団美化活動団体が年3回清掃活動を実施

第1回ワーキング会議(平成21年6月30日)
・槻川の現状や課題を抽出

住民アンケート実施(平成21年7月中旬)
・住民112名を対象にアンケートを実施

第2回ワーキング会議(平成21年7月28日)
・ゾーニングについて決定し、それぞれのエリアの施設計画について検討

第3回ワーキング会議(平成21年8月18日)
・施設計画と維持管理方針について決定

測量、設計(平成21年6月～平成22年3月)

工事(平成21年9月～平成23年7月)



整備の状況



水辺へのアプローチがない(H21.10撮影)



遊歩道により親水性が向上(H23.8撮影)

身近にふれあえる自然と親水空間の創出

- ①沿線の人々が身近に槻川の自然とふれあえる場として活用を図る
- ②現況の河川環境特性を活かした自然指向型の親水空間を整備する

★: ビューポイント



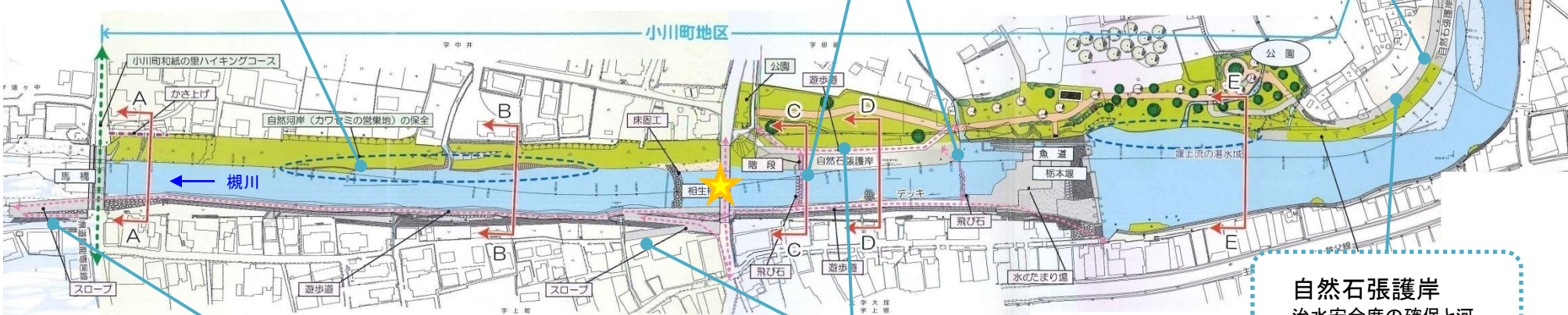
現況河川の保全
現況の自然河岸を維持し、カワセミの営巣地を保全します。



飛び石
飛び石を設置し、左岸の遊歩道から右岸の親水公園をつなぎ、川とのふれあいを創出しました。



河畔林の保全
河畔林による河川環境を保全します。



スロープ
だれでも水辺に近づけるように、スロープを整備しました。



遊歩道
河岸浸食を防止すると同時に、景観にも配慮し、水辺に近づくことのできる遊歩道を整備しました。



左岸側



右岸側

自然石張護岸
治水安全度の確保と河畔林の保全の両立に配慮しました。

